

「地域共生社会」における福祉・介護人材のあり方と 人材確保の方向性について

「限りある資源を有効に活用しながら、質の高い効率的な医療・介護サービスの提供体制を確保するとともに、医療・介護DXの政府を挙げての強力な推進、ロボット・デジタル技術やICT・オンライン診療の活用、タスクシフト/シェアなど地域の実情に応じ、多様な政策を連携させる必要がある」（「骨太の方針」2024年6月）と謳われましたが、働き手の急激な減少により、求められる福祉サービス提供の維持・拡大への対応が、解決すべき喫緊の課題となっています。

一方、「地域共生社会の在り方検討会議」では、地域共生社会の実現に向けた「人と人、人と社会がつながり助け合いながら暮らせる包摂的な社会」、「ともに支え合う社会」を目指した議論が行われています。そこでは地域を支えるすべての福祉サービス事業者、福祉専門職の役割を欠かすことはできません。例えば介護人材に関して厚生労働省はその目指す姿として「山脈型キャリアモデル」を提示し（24年9月）、「職場だけでなく地域全体の介護力向上を進める」ことを複数のキャリアのひとつに掲げたモデルが提案されています。

第49回地域包括ケア事業研究会では、厚生労働省福祉人材確保対策室吉田昌司室長をお迎えして、この厳しい状況下での福祉・介護人材のあり方について、また、人材確保に関する制度の取組について語っていただきます。

本研究会での学びを通じて、これからの地域づくりについて、その中核を担う福祉・介護人材について考える機会とさせていただきます。

地域包括ケア事業研究会
代表 山田尋志

日時 2025年6月14日(土) 16:00-17:40

講演 「福祉・介護人材に関する制度の方向性」(仮)

厚生労働省 社会・援護局福祉基盤課
福祉人材確保対策室 室長

吉田 昌司 様

会場 ハートンホテル京都

京都市中京区東洞院御池上る船屋町405番地
京都市営地下鉄「烏丸御池駅」下車1番出口より徒歩2分

参加費

研究会： 一般：3,000円
研究会会員・専門委員：1,000円

懇親会：9,000円

定員 50名

主催 地域包括ケア事業研究会

お問い合わせ

地域密着型総合ケアセンターきたおおじ(事務局：村田・佐田)

TEL:075-366-8025 Email:kitaooji@iaa.itkeeper.ne.jp

〆切
6月9日

お申込み：下記 URLまたは、二次元
コードからお申し込みください

<https://forms.gle/Dj42dpNwNktcPvuW6>

